

HSK

昭和48年 1月13日

第3種郵便物許可

HSK 通巻 289号

あすなろ

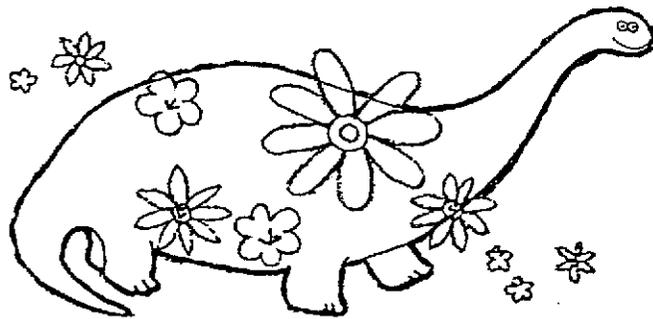
発行平成 8年 4月10日

毎月10日発行 あすなろ会

発行北海道身体障害団体

定期刊行物協会

あすなろ会 会報第76号



JPC国会請願署名と募金

協力有り難うございました

新会員の皆様

森林浴の中で 深尾 貞子

JPC国会請願署名と募金に協力頂き有り難うございました。

佐藤 時重 様
堀川 鶴子 様
東海林嗣男 様
斉藤千鶴子 様

奥田鬼代子 様
渡辺 陽子 様
深沢 幸子 様

美咲の東海林嗣男さんから頂いたお手紙を掲載します。

個人参加難病患者 あすなろ会 国分 正利 様
深沢 幸子 様

前略 表中につき新年のご挨拶は遠慮させて頂きます。

総合的難病対策を要望する請願署名と募金を同封致しましたので御確認して下さい。

尚、ご面倒でも受理したこと一筆お送り下さい。昨年はどうとうご返事ありませんでした。

2ツ目はHSKなんれんは私の手許に63号(95年8月発行)のみしか届いておりません(年3回の発行と聞いていたのですが)

署名の取組について私の毎日が車椅子による在宅生活なので、訪れる人々に訴え続け、ご協力を頂いている次第で、地元支部からの物も有るので日数もかかりました。

でもこうした署名活動を通じて、地域の人々に難病患者の置かれている実態と医療、福祉に対する切実な訴えが理解されつつあります。

私はあすなろ会の会員として96年を迎えて会の皆さんにお願いと要望があるのですが、そもそもあすなろ会は「希少難病」と始め疾病患者の少ない雑居型患者会なのですよね、そうしてこの会に加盟している私たちは46時間中求め、願いつづけている事は一刻も早い治療方法と、闘病生活の中での福祉の手立てですが、その為には人数は少くても会役員が仲介になって、同じ病名同志の医療情報の交換、闘病

生活上の諸経験を、知らせ合い確かめあうことを、求めているのではないでしょうか、勿論個々の人の納得した上での事です。

深沢さんのお手紙の文中に、あすなろ会も会員が少なくなるようではちょっと心配ですと有りましたが、私の身の回りにも、希少難病で同じ仲間を探し求めている人々が眼につきます。

合わせて重度の患者は身軽に難病センターに出掛けていくことも難しく患者の多数は、日々孤立無縁の状態ではないでしょうか。

どうか役員会等の「きかい」にひとつご相談、ご検討してみてください。宜しく。

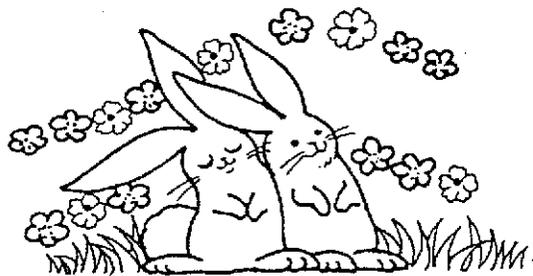
良いご返事をお待ちしながら、50年振りともいわれる冬将軍とも決別して1日も早い春の日差しを仰ぎたいと思います。

1996. 2. 10 東海林 嗣男

ご返事がおくれてしまい御免なさい、東海林さんのお手紙の内容はもっともな事と受け止めます。

あすなろ会の事務局は役員が少なく、なかなかご要望に答えられなくて、新年度は少しでも会員の皆さんの励ましになるように、努力したいと思います。

(事務局)



平成7年度 新会員の皆様

深沢くに子様 井元 光子様 田岡 雪恵様 月居美恵子様
常松 宏光様 阿部 笑子様 枝村 映子様 匿名 様
向山 雅子様 小島 直晃様

(順不同で文章を変えています)

開頭手術もク回を数え、気力も衰えを感じてきました。。早速に無開頭手術であるが、ガンマーナイフの保険適用を実現してほしい。

現在は直っていますが、いつ出るか分からず、生涯完治はしないとされています。原因不明の病気です。将来的にOPEも考えられる為、又仕事の面でも悩んでいます。

数年前より発病していた様で今年2月に症状が重くなり病院に受診診断された。現在ステロイドの服用で病状とともに副作用の不安があります。新規就労の為に北海道に来ましたが、病気が悪化しないように祈っています。

私は難病に指定されていませんが、主治医から「完治の見込み0」と言われています。あすなろ会に入会して同じく病気でやんでいる人のお役にたてばと思います。

(会員になって下さるだけでも、励みになります。事務局)

病気になってしまった以上長く付き合っていかなければならないと思います。口の中がひどく食べる時苦勞しています。(尋常性天疱瘡)皆さんはどんな症状なのか、どんな薬を飲んでいるのか。病気の事を色々知りたいです。

発病が出生と同時にですが、生後7カ月から薬をのんで現在にいる18歳で医療費が自己負担になります。薬代が悩みです。

チャリデーバザー

3月2日3日 難病センター

3月1日(金)の朝より、準備からのお手伝いに参加しました。
昨年までは衣料品コーナーでしたが、今年は家庭雑貨コーナーで
主にバック、鞆類でした、多くの品物があり、これを全部売るのは
大変と思いましたが、他の部会の人達と頑張って、ほとんど売りました。
終わりのほうは50円、10円売りました。
疲れましたが、楽しかったです。



お正月飾り

杉山 覚 様
成田愛子 様

北野組 様
小寺三郎 様

深沢 幸子 様

どうも有り難うございました。

募金箱

叶美智子様

どうも有り難う

ございます



あすなる会の皆様如何お過ごしでしょうか、私ども体の不自由な者にとりまして、辛い長い酷しい冬もやっと終わり、外出が出来る様になると思うだけで、心も軽いやかになって参ります。

「冬来たりなば春遠からじ」と自分に言い聞かせ、長い冬に耐えて参りました。

こうした時、昨年6月24日(土)初夏のレクレーションで苫小牧にある北海道大学の演習林見学に参加させて頂きました時の楽しい思い出を少し書かせて頂きます。

車椅子でなければ外出が不可能な私はあすなる会の行事がなければ旅行等出来ません。

森林浴など話しには聞いて居り、羨ましいと思うだけで、人ごとと思っておりました。その日は丁度、1年ぶりに女学校の同窓会が有りましたが、森林浴くに引かれまして、大切な同窓会をキャンセルして参加させて頂きました。

難病センター前からバス4台に乗り、美しい街並みに目を奪われて居ります内に、北大の演習林に着きました。

車椅子なので、ボランティアさんのお世話になり演習林に入りました見渡す限り、樹木ばかりで他の物は一切なし、街に住む私には不思議な世界でした。行けども行けども樹ばかり、6月の心地良い風を胸一杯に吸い、森林の中を、樹樹の香りとそよ風、ああこれが森林浴なのだ。私もこの幸せを味わう事が出来た事を神仏と難連、あすなる会役員の皆様に感謝させて頂きました。美味しいお弁当を6月の陽光を浴びながら鳥の鳴き声に耳を傾けつつ頂きました。

森のコーナーのお話しとします。

「森と小鳥」は石城謙吉先生、「森と動物」青井俊樹先生、「森と魚」中野敏先生の3班に分かれ各自、希望の班に入る事になりました。私は夫が魚の専門職で今から44年前に職場で急死いたしました。その夫を偲びたく「森と魚」の班に参加しました。

自然を愛しこのお仕事について居られますます、やさしい中野先生の説明に感動致しました。

歩く中に美しい小川のせせらぎ、この流れにやまべ、いわなが泳いで居りました。川の水温は森の樹木に守られて太陽の直射日光が遮られ常に一定の冷たさに保たれ魚達が住める様になって居りますとか、又樹から虫等が落ちて、それが魚の餌になると聞きました。

古い樹等が川に倒れ、そこが魚の住処になっていると、珍しいお話を伺い、自然界の相互補助の素晴らしさに感動しました。

己を振り返って、自分の事のみ考えないで身近な人々にたいし少しでも自分で出来る温かい言葉、行為をして行かねばと思わされた一時でした。

空気の美しさ、此処に住んで居る先生に羨ましさを感じましたところ、先生は北大で会議等の時に札幌に出掛けると、空気の汚さに胸が苦しくなり、仕事が終わると早々に此処に戻られるとか、そうだろうと推察されました。

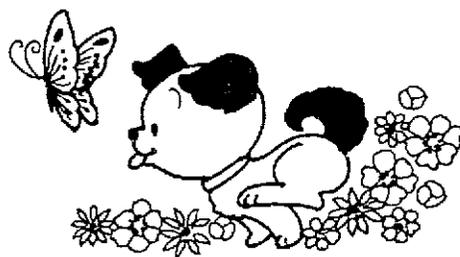
私達は汚れた空気に慣れてなんともありませんが、此処に来て空気が綺麗だと、魂まで美しくなった様で去りがたい気持ちでしたが限られた時間、心に残してバスの人になりました。

林のさわやかな緑と香り、樺前山から湧き出る清冽な小川、小鳥の囀り、世界各地の樹木、美しい自然を満喫した一日でした。幸せでした。今こうして居てもあの風の匂いが、風のせせらぎが聴えて来るようです。

今年はどうな旅行が味わえますかその日を楽しみにしています。

皆様も辛い苦しい時もおありと思いますが、頑張って明るく暮らして行きましょう。

素晴らしい日にお会い出来ますのを楽しみにこれで終わらせて頂きます。ご機嫌よろしゅう。



ちよっぴりと良い子ぶってる七五三

佐藤 時重



後記

あすなろ76号がすっかり遅れてしまいました。

77号は新年度のお知らせです。早めに総会のお知らせで発行します。

総会は平成8年5月25日(土)の予定です。

編集人 個人参加難病患者の会 昭和48年1月13日第3種郵便物認可
札幌市中央区南4条西10丁目 難病センター内 (512-3233)HSK289
発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会 細川久美子
あすなろ76号(毎月1回10日発行)1部 100円(会員は会費に含まれる)